

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			部屋数が多くありクールダウンできるスペースも設けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に合わせた十分な職員配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリーで歩行困難な児童の移動がスムーズに出来ている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月、職員会議、ケース会議を行い目標設定や振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートを元に職員で話し合いを行い、改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今のところ実施していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内外での研修機会を設け、研修に参加出来るよう職員数を多くしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年ごとにモニタリングを行い保護者のニーズに沿った計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員会議で話し合って決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			いろいろな情報を取り入れながら新しい活動を取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	その日の子どもの様子、環境で活動を変えたりするため、きめ細かな設定まではしていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者への聞き取りをもとに個別支援計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の担当を決めている。担当者は支援計画を確認し支援にあたり、ホワイトボードを利用し内容を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			打合せ、ホワイトボードやノートを活用し情報・注意点を共有し確認できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援計画内容が随時確認出来るようにし、記録をとるようにしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとにモニタリング・アセスメントを行い計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			基本的日常生活動作や自立生活等を支援する活動を取り入れている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			適切な職員が行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の行事予定を把握し、下校時間の変更などを知らせてもらっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアの専門スタッフの配置は無く、医療的ケアが必要な子どもの利用もない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要に応じ相談事業所を通じ確認している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			情報を提供等出来るよう同意書を頂いている。相談事業所に情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			関係機関と連携し会議研修等に積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流センターや公園などを利用し交流できる機会を設けている。また生徒・学生のボランティア・体験学習を受け入れ活動の機会としている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			協議会等へ参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳を活用し状況や課題について共通理解を持てるよう心がけている。必要があれば電話やモニタリングで保護者に伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者として出来る支援の仕方などを伝えたり、やり方などを伝えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナ禍のため今年度は保護者会の開催ができなかったが、保護者同士で話が出来る機会を設けるよう務めている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付期間を設けており、適切な対応を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年に一度広報誌を発行し、活動や行事の予定などは随時お知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ホワイトボードを利用したり、分かりやすい文章でお知らせ出来るよう心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ禍のため今年度は実施できなかったが、夏祭りには地域の方や保護者の方に参加してもらっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルはある。契約時、必要時に伝達していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			法人全体で年に2回の訓練と、利用者を含めた避難訓練を行い、事業所での職員だけの避難訓練は定期的におこなってもいる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修に参加し、法人全体や事業所内などで勉強会を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			会議にて検討し保護者に説明したうえで個別支援計画書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時、アレルギーがあるか確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成し、共有している。